



2024年5月期 第2四半期 決算説明会

2024年1月25日

三光合成株式会社
[東証 プライム市場 7888]





I 会社概要

II 2024年5月期第2四半期 連結決算概要

III 2024年5月期 連結業績予想と中長期の取組み

I 会社概要

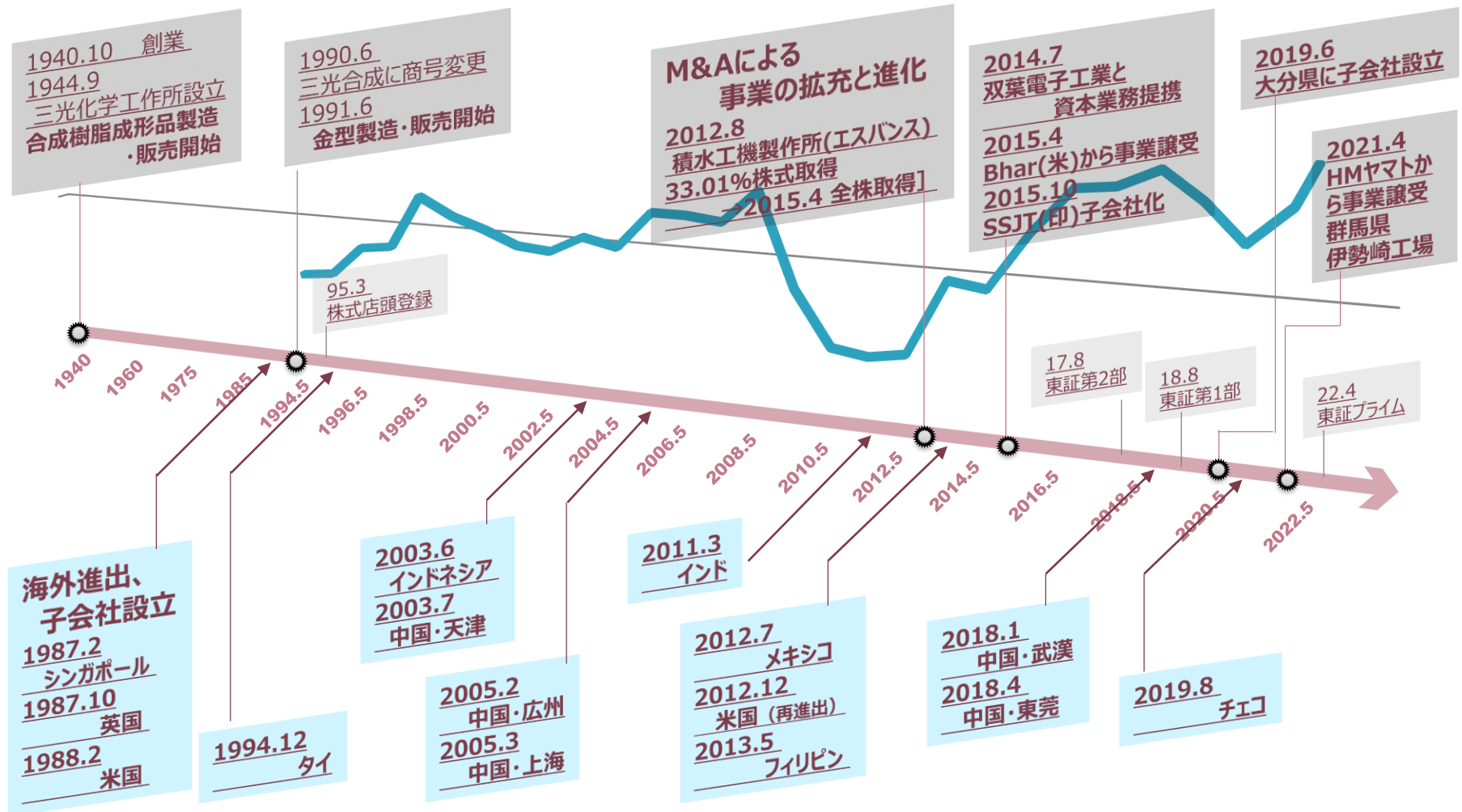


社名	三光合成株式会社 (SANKO GOSEI LTD.)
代表者	代表取締役社長 黒田 健宗
本社	富山県南砺市土生新1200番地
資本金	4,008百万円
創業	1940年10月12日
設立	1944年 9月18日
従業員	単体：709名 連結：2,827名 (2023年11月末現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■成形品事業<ul style="list-style-type: none">・情報・通信機器部門・車両部門・家電その他部門■金型事業

成長の軌跡 | 車両・電子機器向け樹脂成形大手、海外売上過半



完成車メーカーのグローバル生産体制を支える不可欠な存在へ



国内拠点 | 成形8工場 金型2工場 営業所5拠点



■ …成形工場 ■ …金型工場 ■ …営業拠点

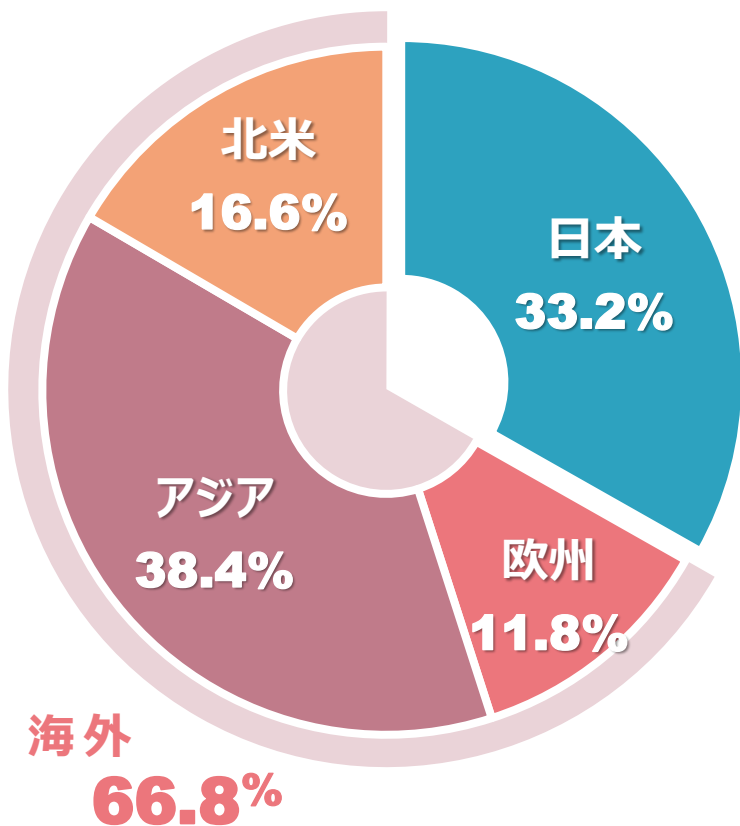


海外拠点 | 11ヶ国／17法人

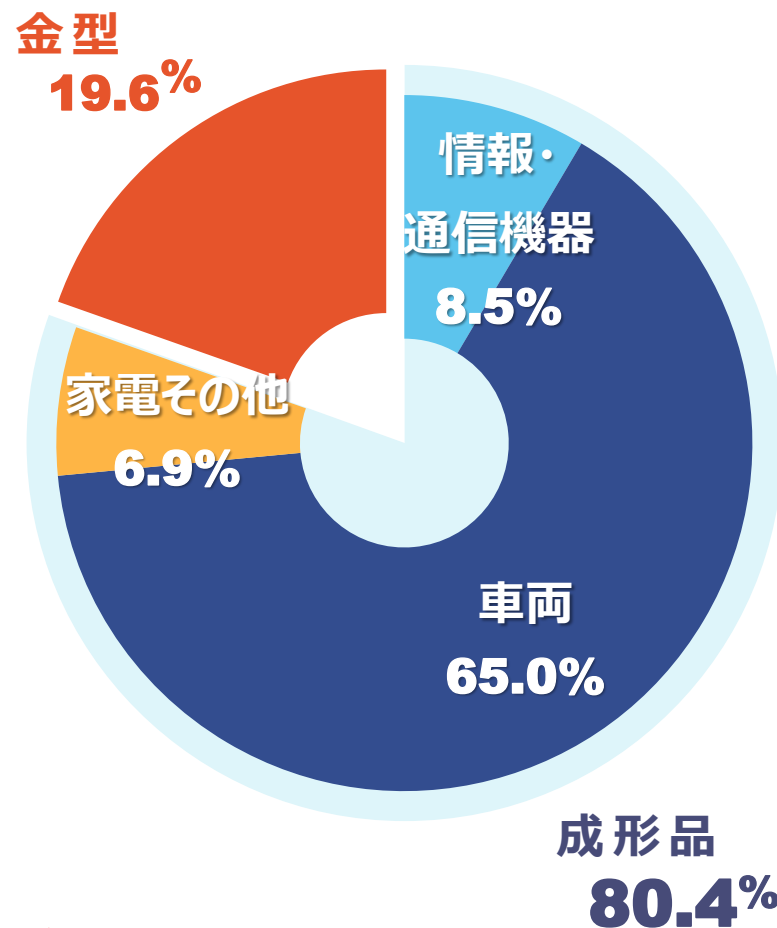




地域別



事業部門別



※本資料中では、構成比の数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります




通常、部品メーカーが外注する **金型設計・製作部門を内包**
顧客ニーズを汲み取り大量生産に耐える金型を設計・製作
大量生産開始後の不具合発生時も即ソリューション実行

当社の製品生産フロー

通常、部品メーカーが外注する部分

**顧客の
製造現場での
悩みとニーズ**



製品設計

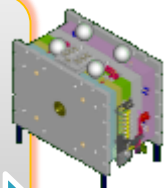
- お客様へ駐在し設計対応

金型設計・製作

CAE解析

- 86年国内草分けとして導入
- 金型メーカーとして最長のレコード保持

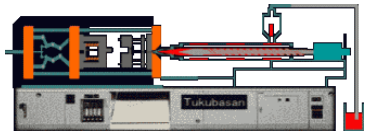
• スタート段階から大量生産に耐える設計
• ...
• 専門金型メーカーとの最大の違い



省力化機器製作



量産



品質管理



納品



Ⅱ 2024年5月期第2四半期 連結決算概要

2023年6月1日～2023年11月30日

2024年5月期第2四半期 決算総括



- 新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い個人消費持ち直しの兆しはあるも、資源・エネルギー価格高騰や円安に伴う諸物価上昇から、先行きは依然不透明。その中、高付加価値製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極推進し、大幅増収増益。売上高、営業利益、経常利益は過去最高。

● 売上高	459 億 24 百万円	前期比	19.2 %	↑
● 営業利益	20 億 41 百万円	前期比	24.2 %	↑
● 経常利益	19 億 77 百万円	前期比	5.0 %	↑
● 四半期純利益	13 億 31 百万円	前期比	1.0 %	↓

■ 地域別売上高

日 本	前年同期比	8.2 %	↑	143 億 19 百万円
欧 州	前年同期比	49.6 %	↑	63 億 06 百万円
ア ジ ア	前年同期比	13.1 %	↑	172 億 87 百万円
北 米	前年同期比	38.4 %	↑	80 億 10 百万円

■ 事業部門別売上高

成 形 品	前年同期比	22.9 %	↑	390 億 79 百万円
金 型	前年同期比	1.8 %	↑	68 億 44 百万円

※本資料中では、「当期（又は四半期）純利益」の表記は「親会社株主に帰属する当期（又は四半期）純利益」を意味します

2024年5月期第2四半期 損益状況

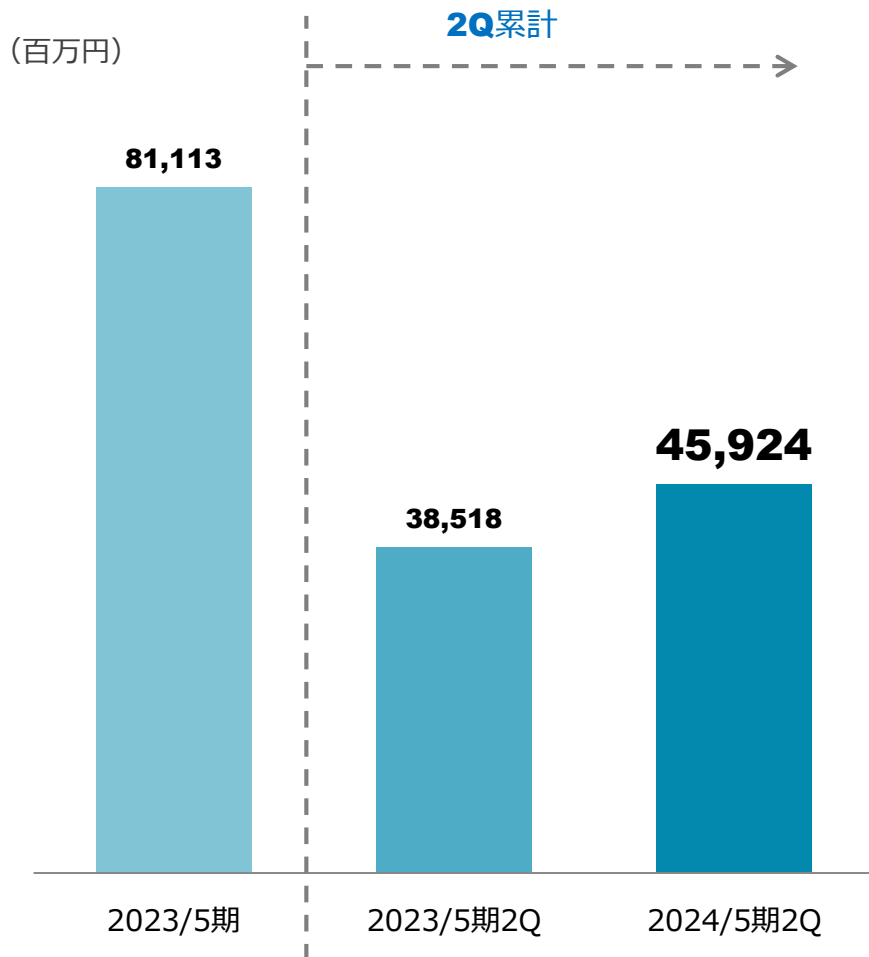


	2023年5月期 第2四半期実績		2024年5月期 第2四半期実績				対通期業績予想、進捗	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	前年同期比		通期業績予想 (百万円)	進捗率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	38,518	—	45,924	—	+7,406	+19.2	85,000	54.0
売上原価	32,933	85.5	39,392	85.8	+6,459	+19.6	—	—
売上総利益	5,585	14.5	6,531	14.2	+946	+16.9	—	—
販管費	3,941	10.2	4,490	9.8	+549	+13.9	—	—
営業利益	1,644	4.3	2,041	4.4	+397	+24.1	3,800	53.7
経常利益	1,883	4.9	1,977	4.3	+94	+5.0	3,600	54.9
四半期純利益	1,345	3.5	1,331	2.9	▲14	▲1.0	2,300	57.9

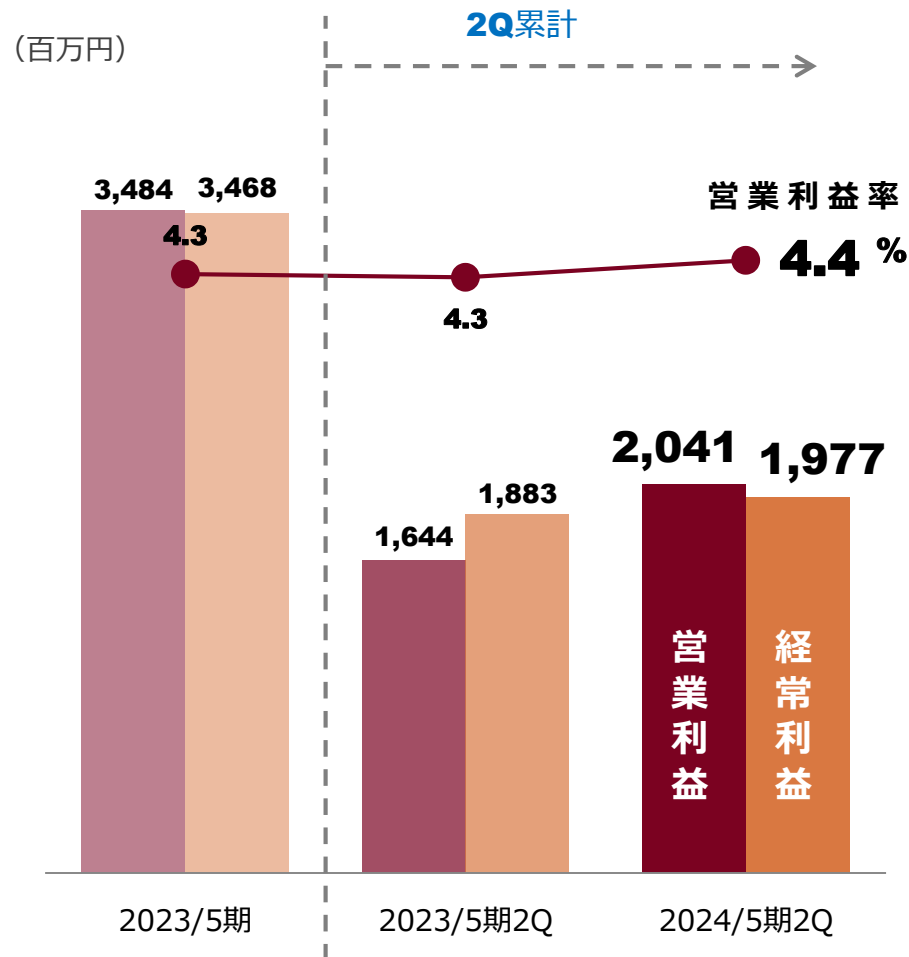
売上高・営業利益・経常利益の推移



売上高



営業利益・経常利益 / 営業利益率



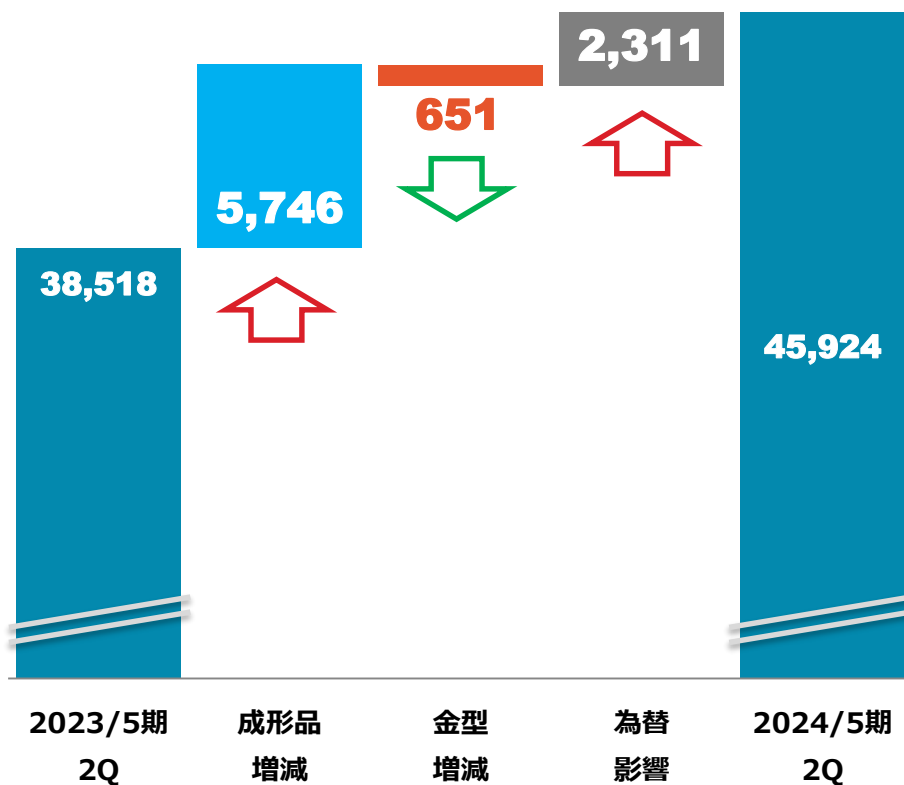
売上高・営業利益の増減要因分析



売上高

(百万円)

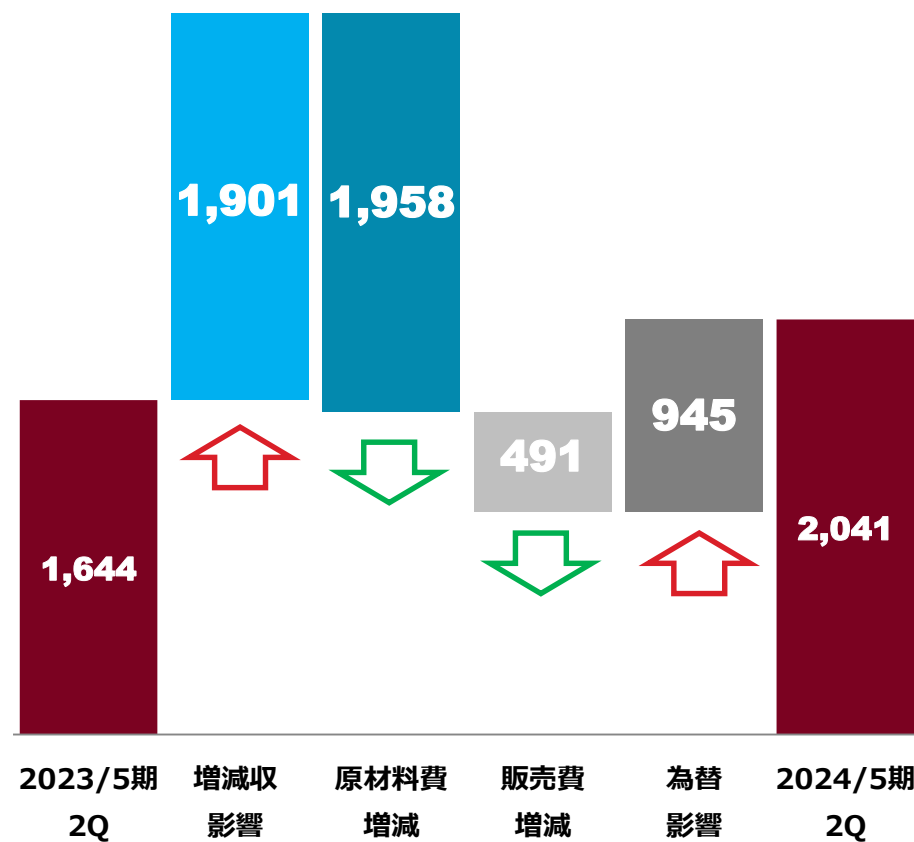
7,406↑



営業利益

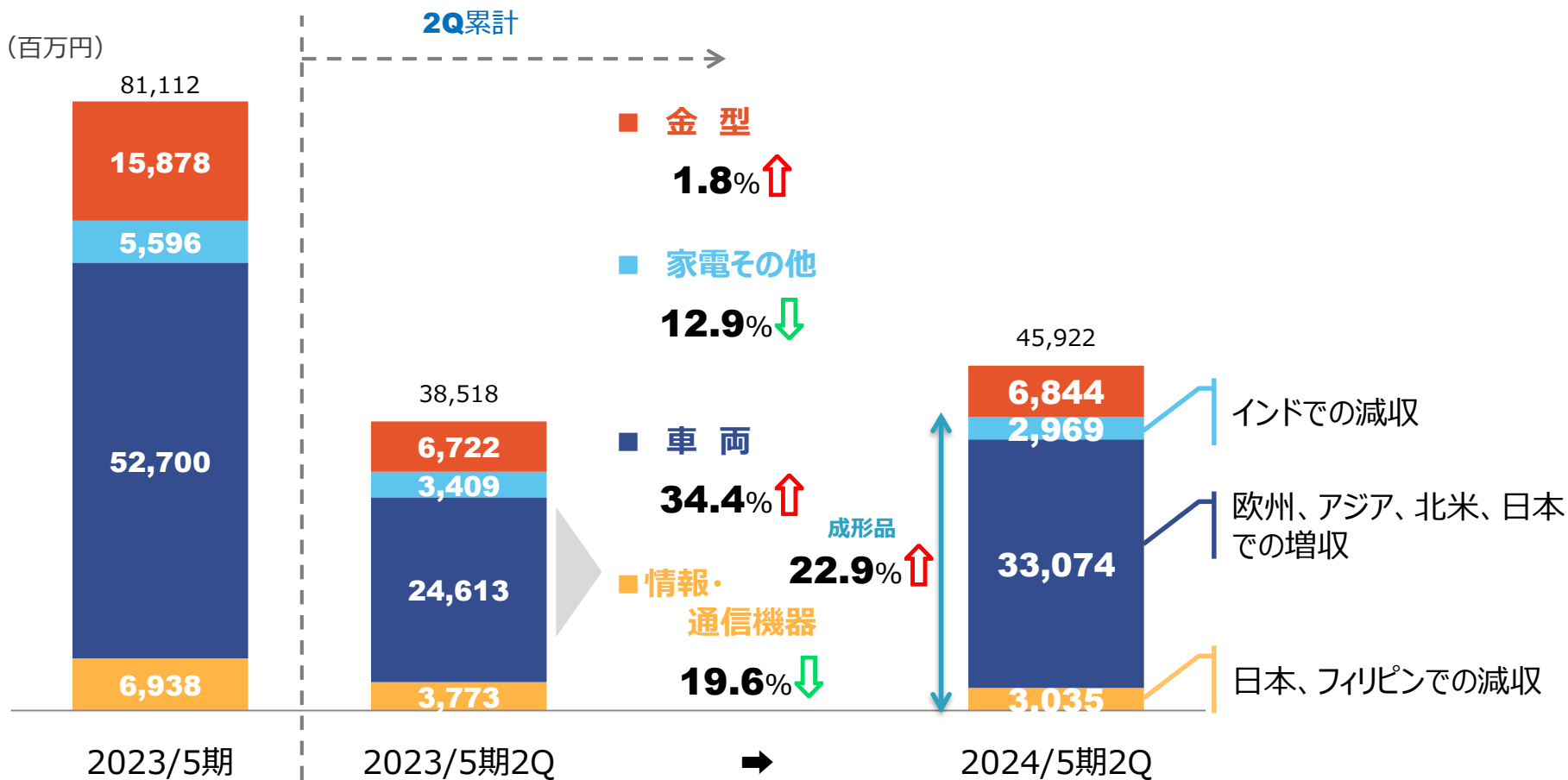
(百万円)

397↑





事業部門別売上高

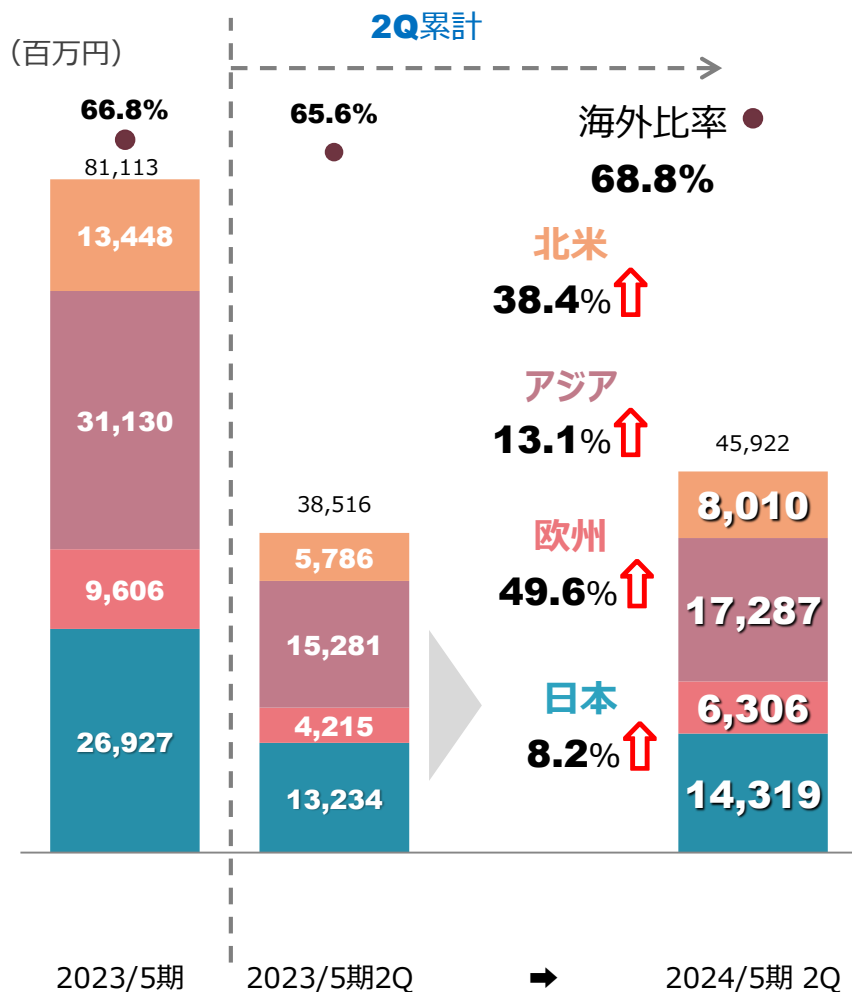


※本資料中では、各内訳数値の単位未満の端数処理の関係でその計と合計が一致しない場合や増減率の数値が一致しない場合があります

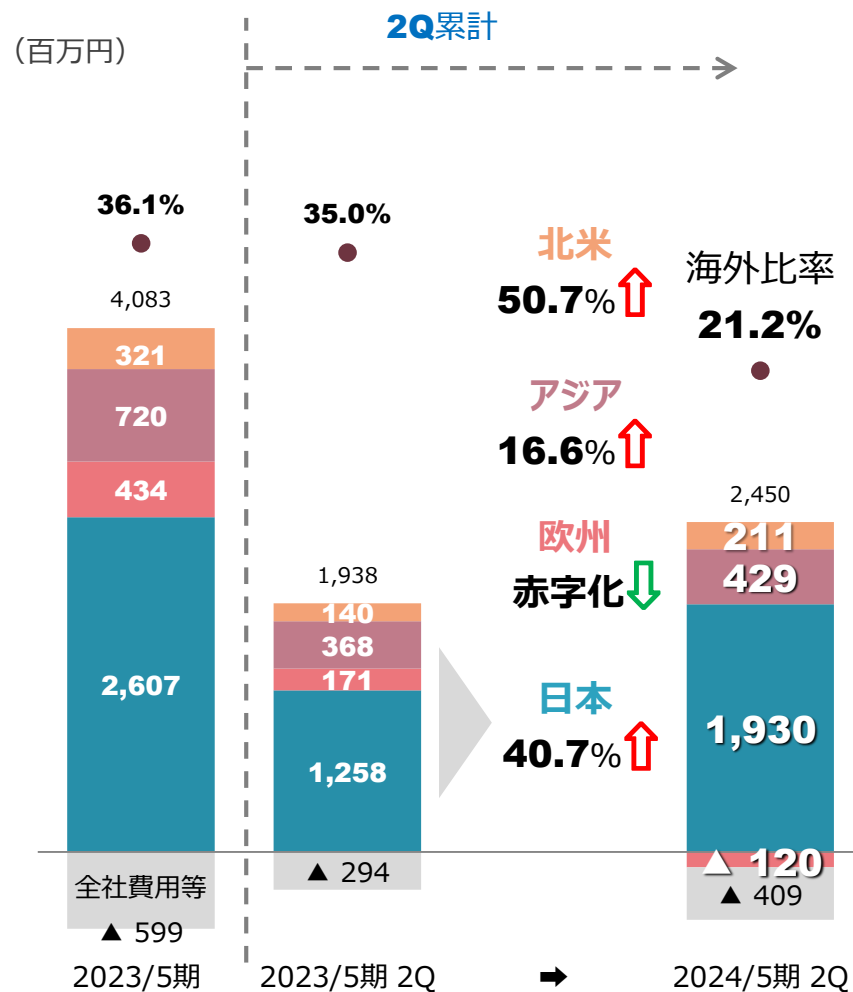
地域別売上高・営業利益の推移



地域別売上高 / 海外比率



地域別営業利益 / 海外比率



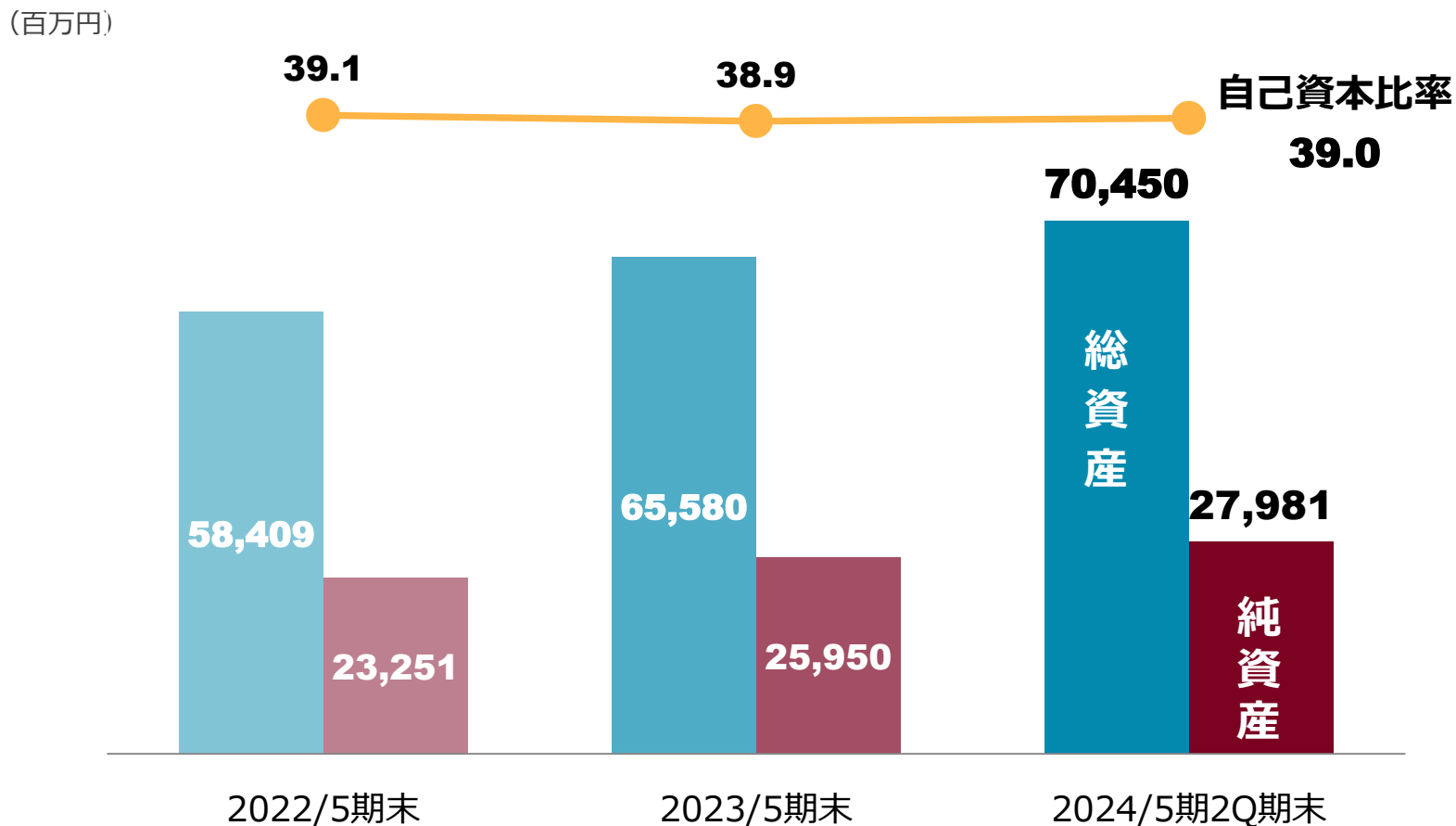
2023年5月期第2四半期 財務状況



	2023年5月期末 2023.5.31		2024年5月期第2四半期末 2023.11.30				
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額／主な増減要因 (百万円)		
■ 流動資産	36,644	55.9	38,114	54.1	+1,470		
■ 固定資産	28,935	44.1	32,336	45.9	+3,401	建物 機械	+1,382 +915
資産合計	65,580	100.0	70,450	100.0	+4,870		
■ 流動負債	27,710	42.3	29,407	41.7	+1,697		
■ 固定負債	11,919	18.2	13,061	18.5	+1,142		
負債合計	39,630	60.4	42,468	60.3	+2,838		
純資産合計	25,950	39.6	27,981	39.7	+2,031	利益剰余金	+1,058
負債純資産合計	65,580	100.0	70,450	100.0	+4,870		



総資産・純資産 / 自己資本比率

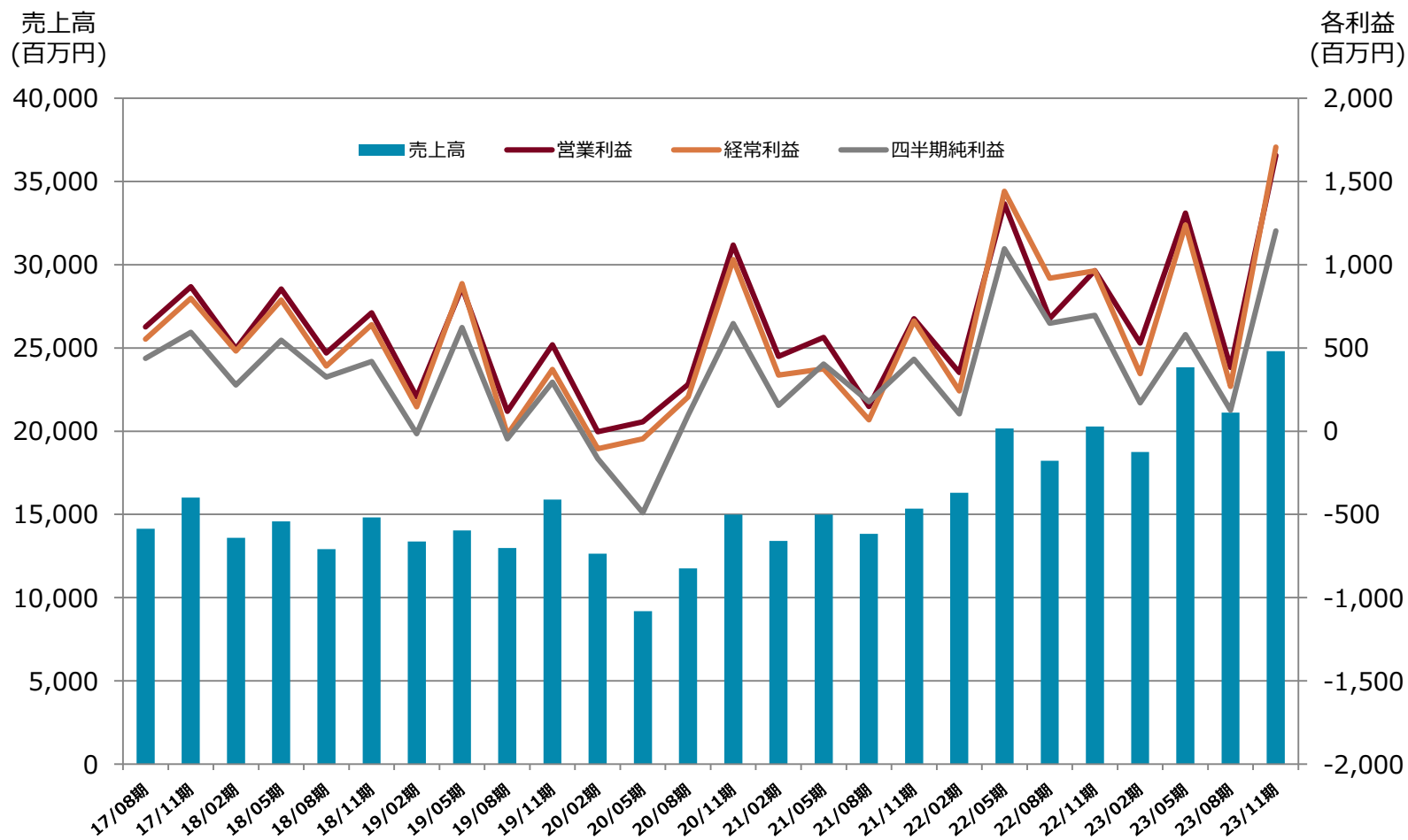


2024年5月期第2四半期 キャッシュ・フロー状況



	2023年5月期 第2四半期	2024年5月期第2四半期	
	(百万円)	(百万円)	主なキャッシュ・インフロー／アウトフロー(百万円)
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,681	1,782	税前四半期純利益 +1,879 減価償却費 +1,930
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,111	▲2,108	有形固定資産取得 ▲2,078
フリー・キャッシュ・フロー	+2,570	▲326	
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲630	▲176	長期借入金借入 +2,000 長期借入金返済 ▲1,125
現金及び現金同等物の 増減額	2,112	▲225	
現金及び現金同等物の 期首残高	6,822	8,775	
現金及び現金同等物の 期末残高	8,934	8,549	

四半期業績の推移



Ⅲ 2024年5月期 連結業績予想と

2023年6月1日～2024年5月31日

中長期の取組み

2024年5月期 業績見通し | 売上高過去最高を更新



- ウクライナ情勢の長期化による資源・食料価格の高騰、米国を中心とした金融引き締め等による景気後退懸念など引き続き先行きが不透明な状況下、より付加価値の高い製品や金型の受注活動を積極化するとともに、安定した収益構造の確保と経営体質の強化を図る。売上高は過去最高を更新で、増収増益を見込む。

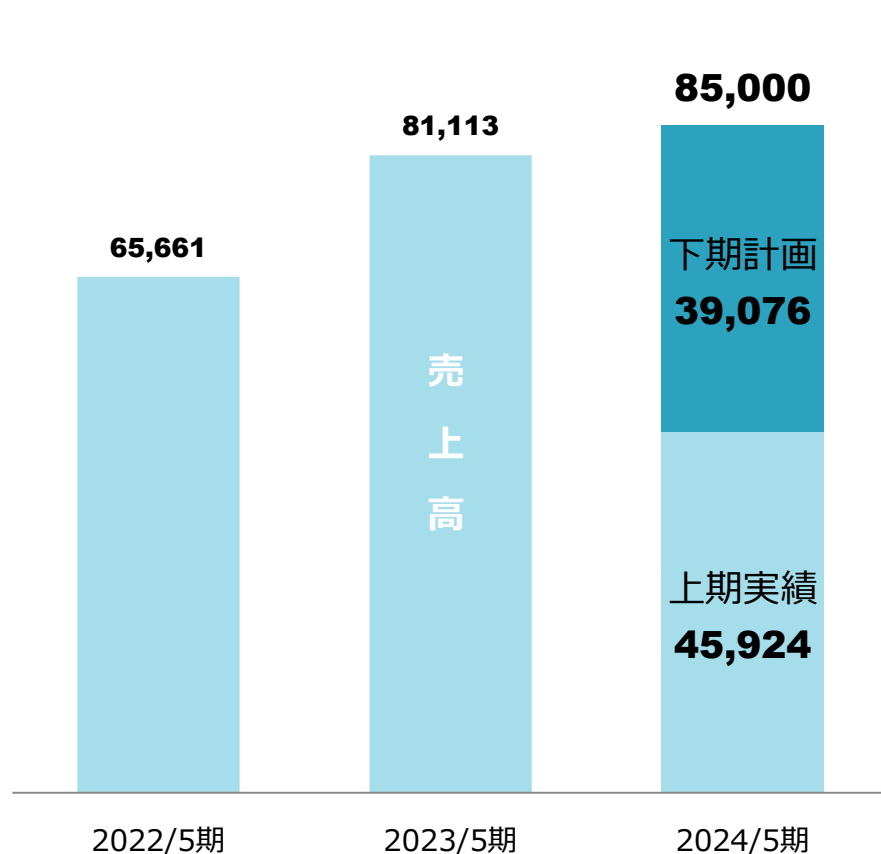
	2023年5月期 通期実績		2024年5月期 通期計画			
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	81,113	—	85,000	—	+3,887	+4.8
営業利益	3,484	4.3	3,800	4.5	+316	+9.1
経常利益	3,468	4.3	3,600	4.2	+132	+3.8
当期純利益	2,096	2.6	2,300	2.7	+204	+9.7
1株当たり 当期純利益	68. ⁷⁸ 円	—	75. ⁴⁴ 円	—	+6. ⁶⁶ 円	—
1株当たり 配当金	16. ⁰⁰ 円	—	20. ⁰⁰ 円	—	+4. ⁰⁰ 円	—
ROE	8.7%		8.9% (予想)			

売上高・営業利益・経常利益の見通し



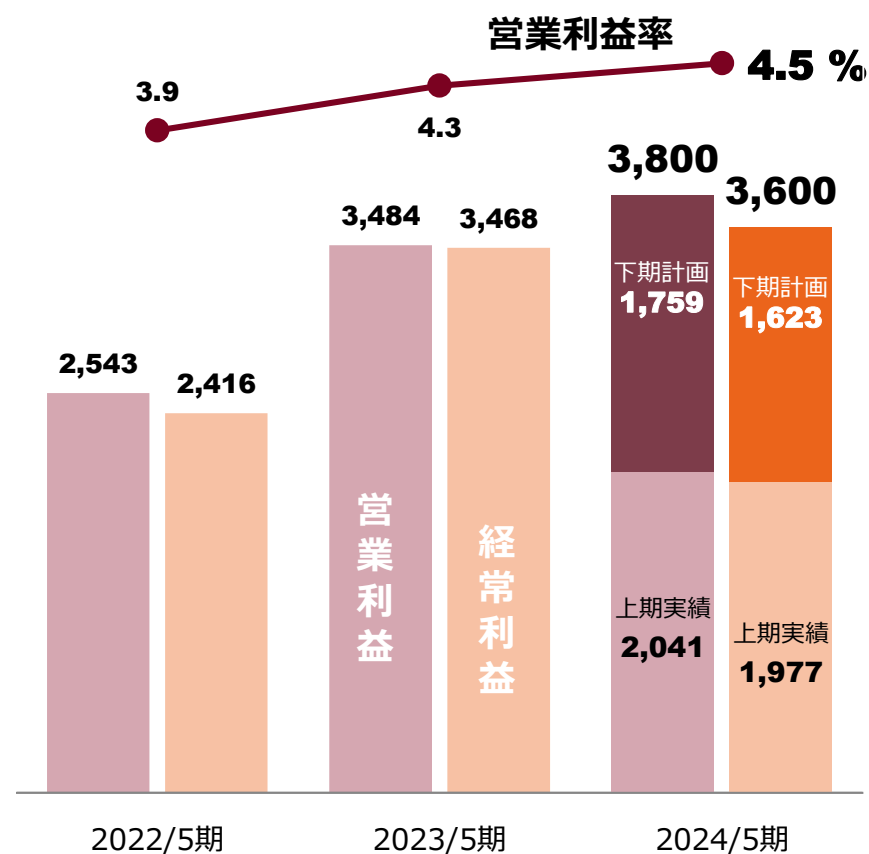
売上高

(百万円)



営業利益・経常利益 / 営業利益率

(百万円)

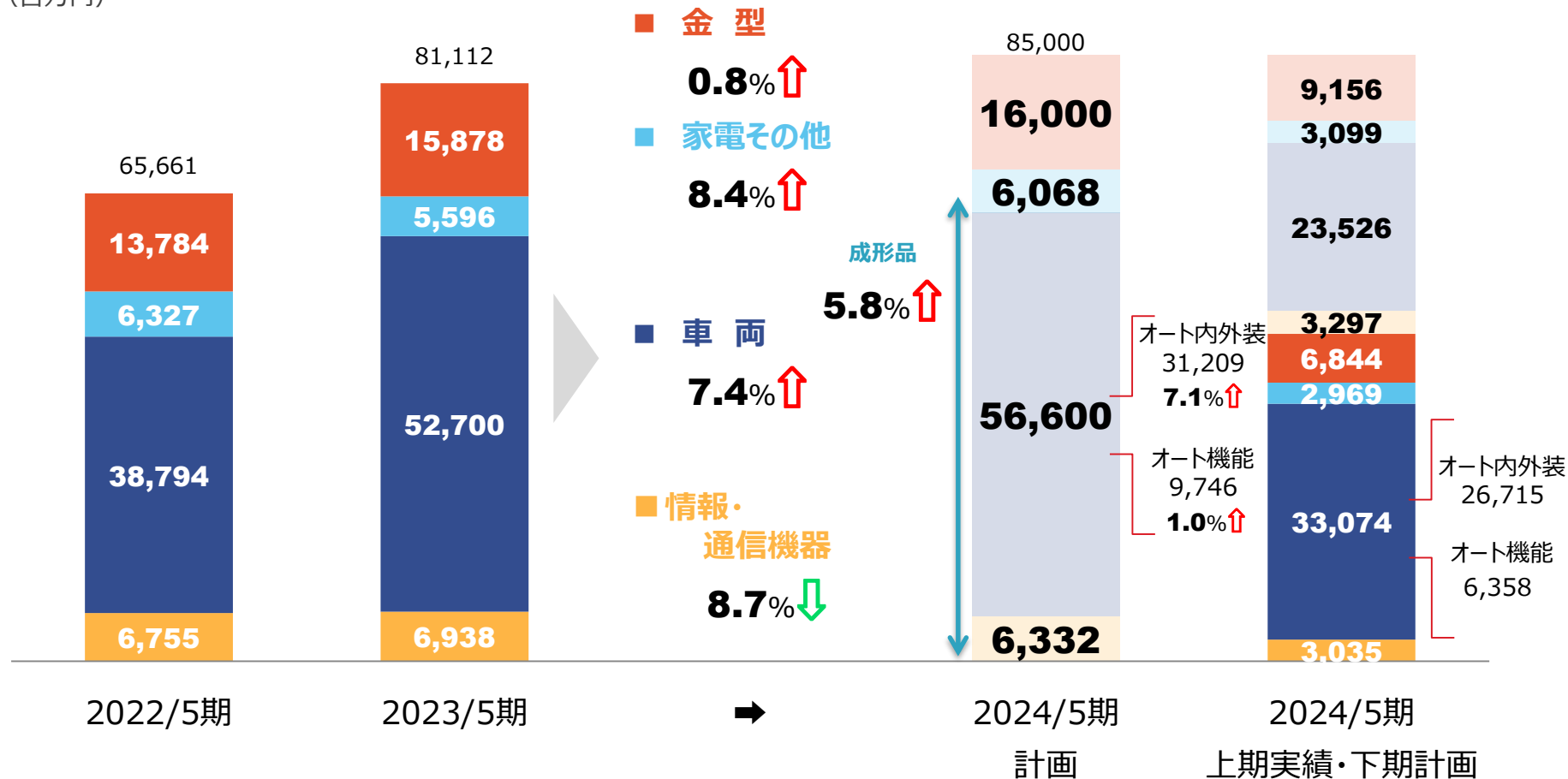


事業部門別売上高の見通し



事業部門別売上高

(百万円)

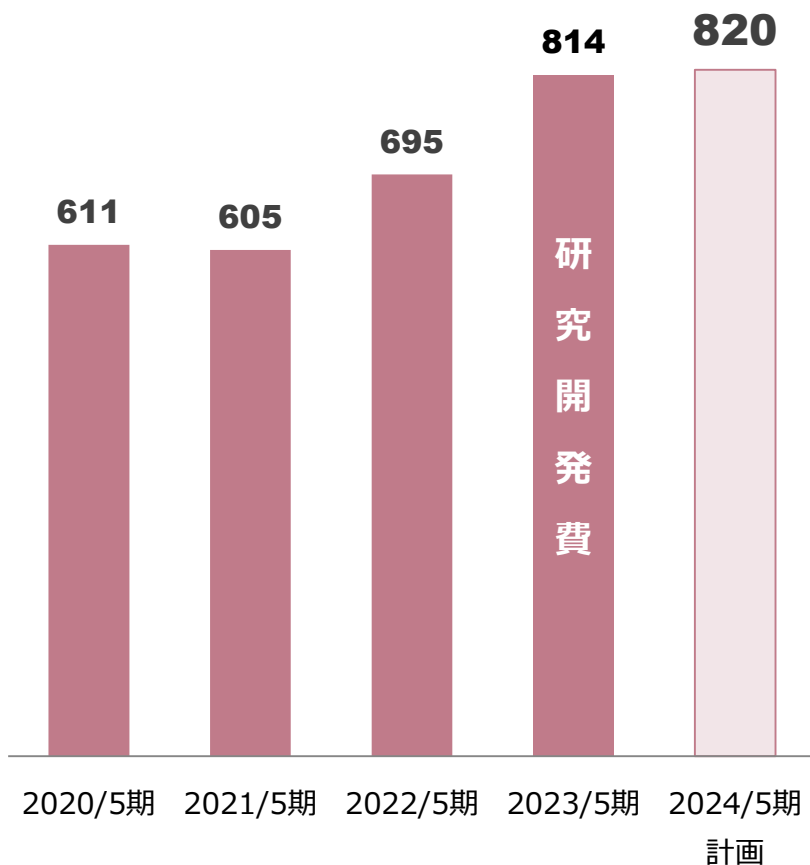


研究開発費、設備投資額・減価償却費の見通し



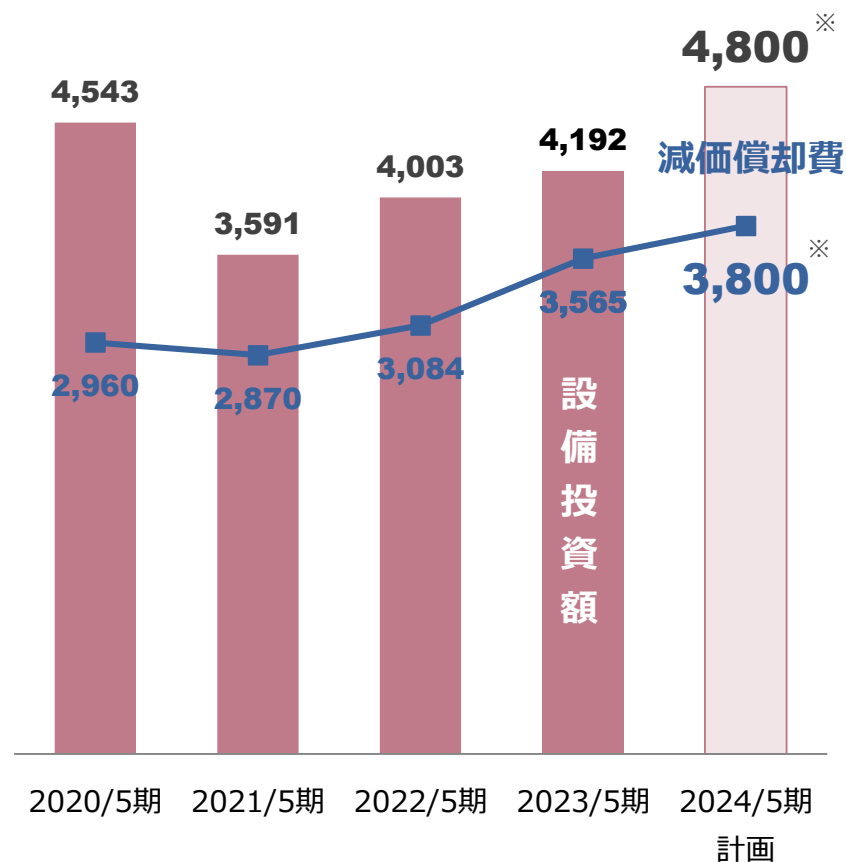
研究開発費

(百万円)



設備投資額・減価償却費

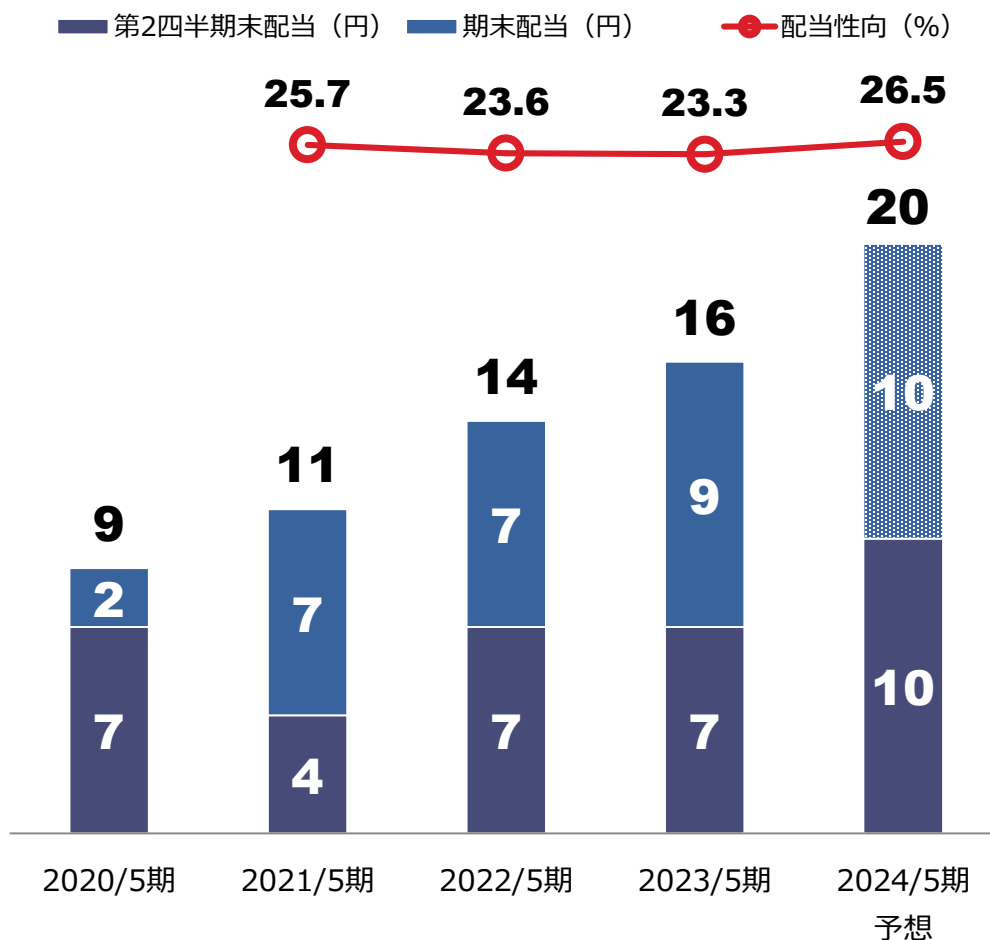
(百万円)



※ 当初計画の設備投資7,000百万円、減価償却費4,000百万円から修正



年間配当金の推移



2024.1.11に中間配当・期末配当予想を修正

中間：9円→10円

期末：9円→10円（予想）

配当基本方針

安定的な配当を継続していくと同時に、業績に応じ積極的に株主に還元

内部留保資金

競争力の維持・強化や経営基盤拡充のため、設備投資や開発活動に充当

※配当性向について、2020/5期は当期純損失のため記載していません



基本方針

より付加価値の高い製品や金型の積極的受注活動

安定した
収益構造
の確保

経営体質
の強化

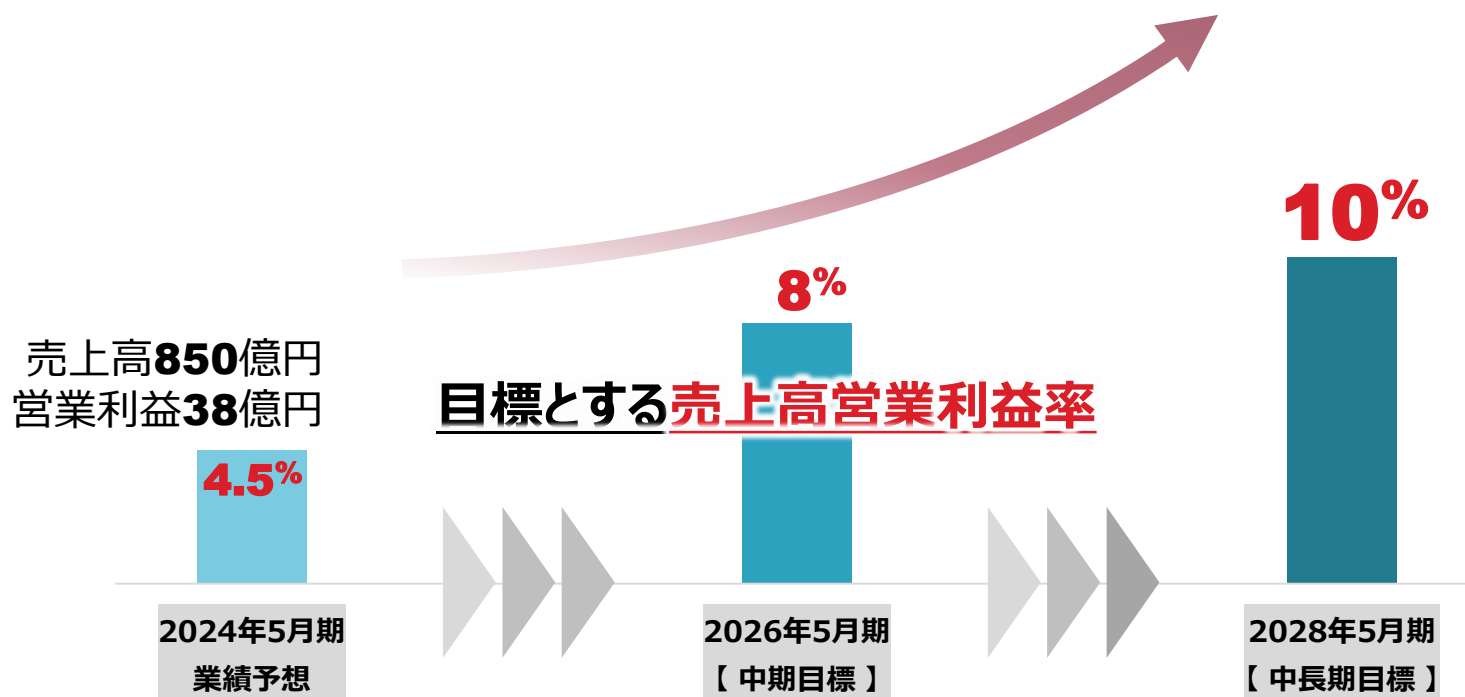
【当社の経営戦略】

製品設計・金型製作・成形・塗装・組立から省力化機器の製作まで一貫した生産体制を構築
構築した技術力とノウハウを最大限に利用し、プラスチックの利点を極限まで引き出して製品や部品に実現



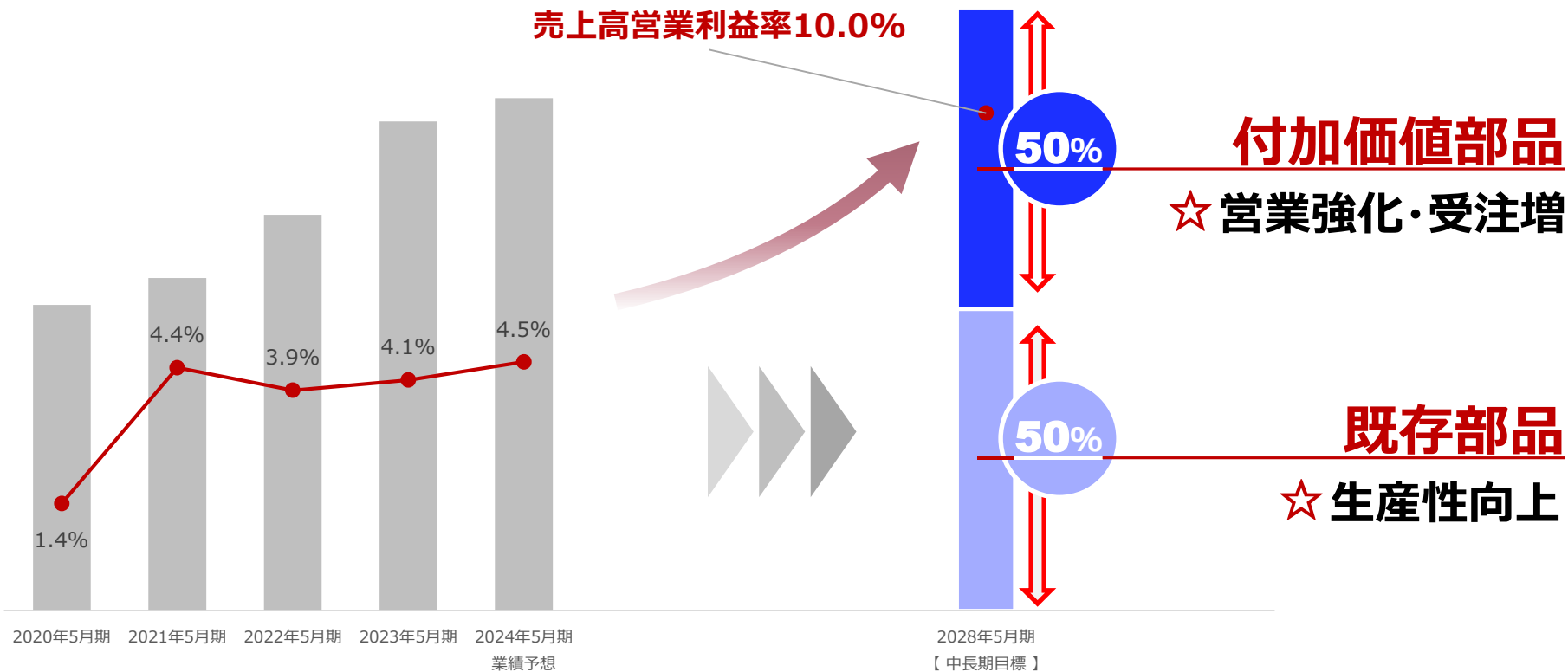
目標 10・10・10 “トリプル10”

売上高 **1,000**億円・営業利益 **100**億円・営業利益率 **10%**



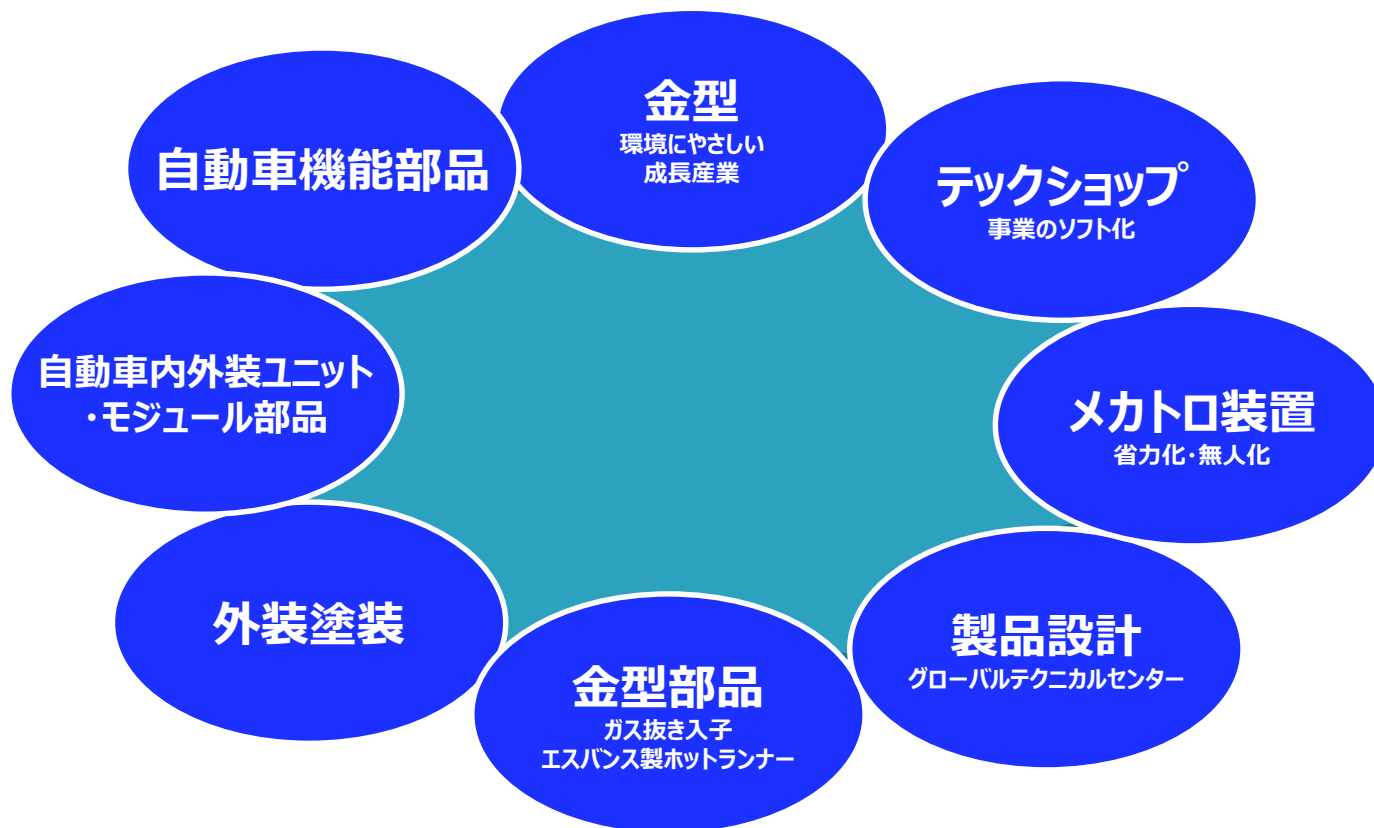


中長期目標 売上高営業利益率10%に向けて目指す売上構成



- プラスチックの成形品および金型の販売に加えて、上流の開発及び設計段階から参入することにより、これまで以上に付加価値の高い製品の受注に取り組む
- 生産体制の整備を強化し原価低減を積極的に進め、収益の確保に取り組む

営業力強化・受注増を目指す製品候補





製品 金型 などの 設計事業を強化

国内外の自動車メーカー
の車両部品設計ニーズ
に対応

設計者60人 ⇒ 100人増強、
インドや東南アジア、中国、日本などで採用拡大

「テクニカルセンター」 の連携強化

「グローバルテクニカル
センター」へ

製品設計と省力化機器の推進

プラスチック100% リサイクルに向け 専門組織を新設

環境意識高い欧米
での事業拡大へ

プラスチックの廃材や不良品のリサイクル推進
によるコスト削減も図る

メカトロ（省力化 機器）部門の強化

省人化、生産性向上、
安定した品質

ケタ違いの合理化を検討し実現させていく



■ 自社の技術情報を公開、モノづくりのノウハウを販売する専用の技術情報サイトを開設

開設時

【不良現象、対策部品、対策事例の紹介】



製品不良事例：
ガスやけ



対策用の金型部品：
SG-WIND



対策前 ガス焼け有り(矢印先は0.1mm)



対策後 ウェルド&ガス焼け改善

適用事例

技術を知りたい (初心者)
技術を使いたい (現場技術者)

利用者にとって本当に知りたい情報の不足

推進中

【ユーザーにあった情報の提供】

○「ガスやけて何故起こるのですか？」(初心者)

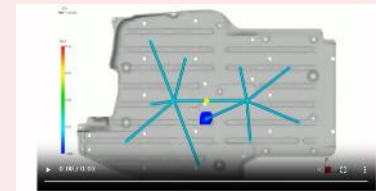
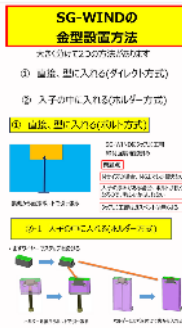


||
未来の現場技術者

現場で実際に困った

技術情報の勉強
(勉強サイト立ち上げ)

○「この部品、売っているの？
どうやって使えば良いの？」(現場技術者)



ターゲット型とターゲット型を組み合わせることで、理想的な効果が得られる場合もある。上記の様な効果が期待できる様な場合には、金型メーカーに相談が必要になる。

効果的な設置場所の見極め方法

販売、利用方法の紹介



初心者から現場技術者まで
それぞれの悩みを解決する
「問題解決ツール」

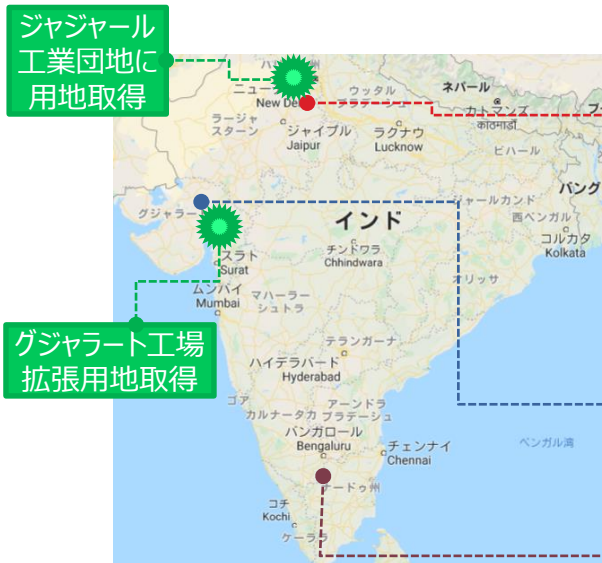


日本語

English



Topic | インドでのビジネスの状況・・・工場を増設・新設へ



SANKO SVANCE JRG TOOLING INDIA PVT LTD.
 | ハリアナ州バワル
Tool room (Injection mold maker) | **金型**

SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
 < Haryana Office > | ハリアナ州バワル
Parts supply for Home appliance | **家電向け樹脂部品 販売**



SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
 < Gujarat Factory > | グジャラート州マンダル
Injection molding for Automotive & Home appliance
 | **自動車・家電向け樹脂部品 製造販売**



SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
 < Erode Office > | タミルナードゥ州エロード
Design center | **設計事務所**

インドの成形会社 (STD)

- ・ジャジャール工業団地の新工場で生産対応する部品の受注活動中
- ・グジャラート工場に塗装設備の導入を計画中

インドの金型会社 (SSJT)

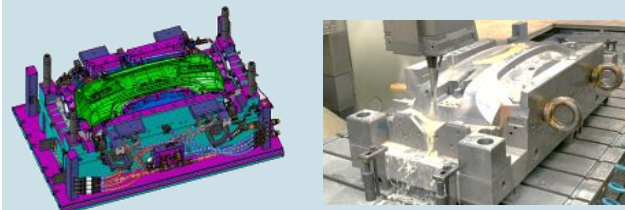
自動車のバンパー金型の製作実績ができ、今後はバンパー金型の継続受注と共に、インパネ金型の製作に取り組む

インドでの設計

現在、製品設計対応者は6名。非常に高いスキルを備えた人材が多い。



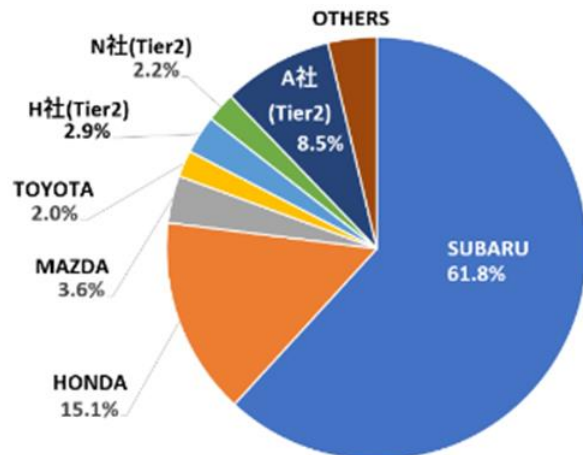
インド国内での設計者を更に増加させていく構想。これまでアウトソーシングでの活用だったが、インド国内での需要も高まっている。





SANKO GOSEI TECHNOLOGIES USA INC.

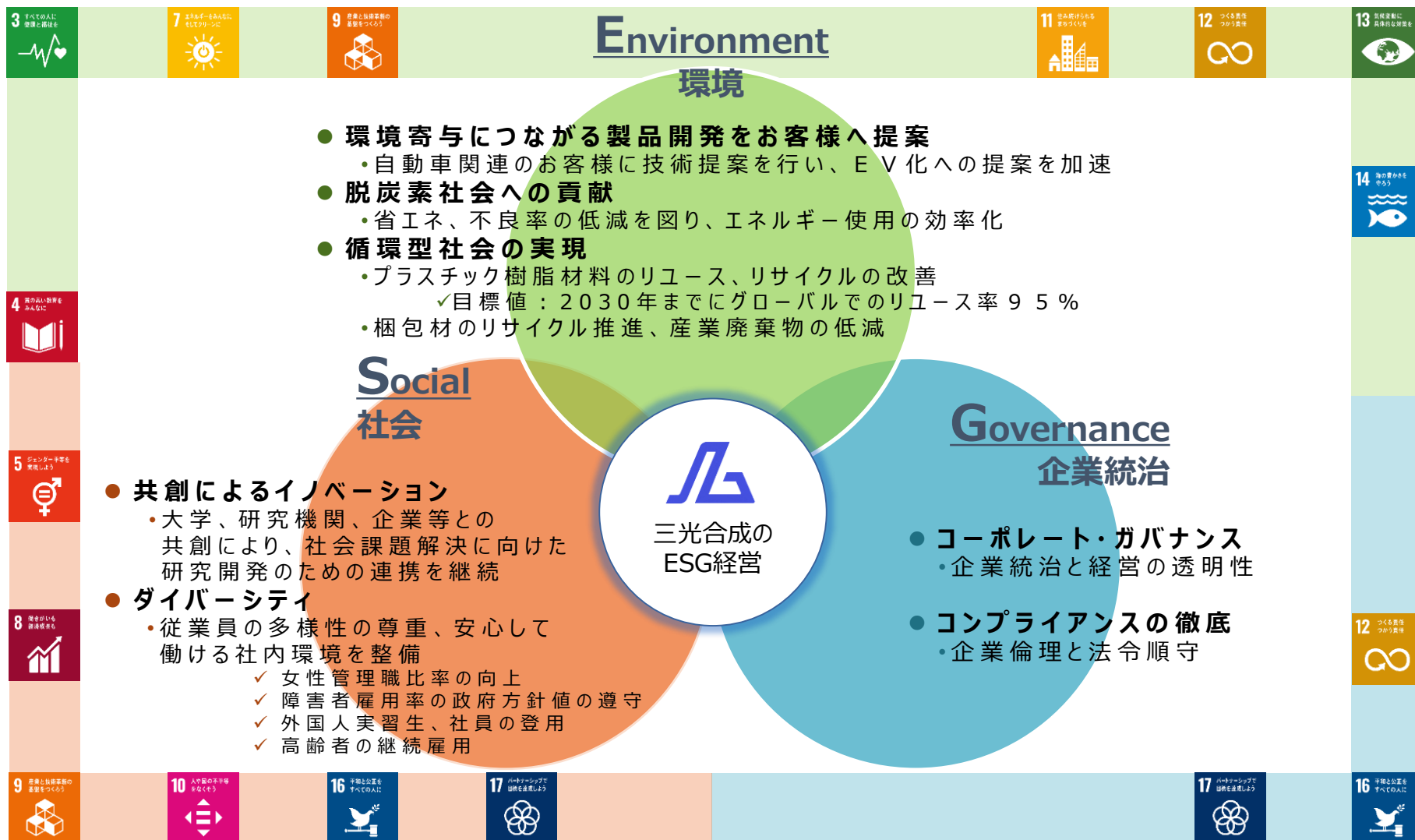
- ・2015年にBhar(米)から事業譲受
- ・SUBARU社との取引が拡大
- ・日系完成車メーカーの電動車受注に向けて追加投資計画中



現在の保有成形機：34台

成形機・周辺機器への投資で16百万ドルを予定

- ・能力増強：5台
→新規受注増による追加設備投資
- ・更新設備投資：3台





■富山県SDGs宣言

基本理念「自然との調和に努める」 | 私たちは、当社の製品が全世界で使用されているという認識のもとに、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮し、改善を継続する事業活動を行います。

取組
目標

社員のモラル向上、精神面鍛錬、
そしてお客様へのおもてなしにつな
がる活動の継続

Action

全員参加のトイレ掃除

海外、国内各工場において
経営層から社員まで全員参加のトイレ清掃で
世界一綺麗なトイレを目指す。



取組
目標

プラスチック製品や樹脂材料を海や
陸に廃棄しない

Action

成形不良品のリユース

廃棄向け樹脂製品を粉砕し
再生樹脂材料として使用しリユース率を高めていく。
最終処分場までのトレーサビリティにより
ライフサイクルの視点で責任を持つ。



New
プラスチック資源循環
の技術開発

通常のプラスチックはリサイクルすると
強度が劣化するが、福岡大との共
同研究により、リサイクル後でも通常
のプラスチックと同等の性質を維持で
きるようになり、実用化を目指す。

取組
目標

人権を尊重し、社員のダイバーシティ
を推進

Action

ダイバーシティを推進

女性、高齢者、障がい者、外国人の柔軟な雇用と
働きやすい職場環境を維持改善する。





■カーボンニュートラルに向けた取組み

- ① 日常改善による省エネを推進します。
- ② **再生可能エネルギーを活用します。**
- ③ 生産技術の開発、導入による省エネを推進します。



- ④ 樹脂材料、リユース、リサイクルを推進します。
- ⑤ 不良率低減を含む廃棄物削減を目指します。
- ⑥ 工場および関連施設の緑地化を推進します。

■女性活躍推進に向けた取組み

当社は令和5年度の「とやま女性活躍企業」に認定されました。

「とやま女性活躍企業」とは、企業の成長とウェルビーイング（真の幸せ）の実現に向けて、女性が活躍する県内企業等を県が認定する制度です。

選定基準

- ① 女性の管理職比率 → 産業ごとの全国平均値以上
- ② 時間外労働等の時間数 → 各月ごとに全て45時間未満
- ③ 女性活躍推進に向けた取組み → 具体的な取組みを1つ以上行っている
- ④ 企業内の男女共同参画を進めるチーフ・オフィサーを設置している ほか



■三光合成株式会社 南砺市土生新1200番地

令和5年度認定

女性の活躍へ向けた中期的な視点で人材育成をすすめると共に、男性の育児休暇取得や、働くお母さんの、育児を含めたワークライフバランスに注力している会社です。



常時雇用労働者数 914人

女性管理職比率 8.0%
女性管理職数 8人



このプレゼンテーションで述べられている三光合成株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。